

こんにちは 中根さちの ハーフシター

日本共産党 高知県議会 活動報告ニュース 県議会控室 823-9524 高知市丸の内1-2-20
自 宅 872-9324 高知市福井町1475-3



2016. 6. 19
No. 479

県議会開会中 6/8〜6/12

本会議の代表質問が13日〜15日に行なわれ、私が代表して質問した内容をお知らせします。



7月10日は 参議院議員選挙

ニュースは、7月10日が終了するまで休みとなります。暑い、熱い梅雨の時期ですが、お気を付けてお過ごしください。

伊方再稼働中止を 中根

地震での安全性確保 知事

(中根) 国民に内容を説明できないような環太平洋連携協定(TPP)は、撤回以外にない。
(尾崎知事) 参加国との秘密保護の取り決めなどで全ての情報を開示することには一定の制約があることは承知しているが、今後、臨時国会で審議される際には、政府において説明手法の工夫を行い、できる限り丁寧な説明をしてもらいたい。

(中根) 熊本地震を教訓とするなら四国電力伊方原発3号機(愛媛県伊方町)は再稼働する状況にない。中止を求めるべきだ。
(尾崎知事) 四電との勉強会などで、伊方原発の安全上重要な施設や設備は、万が一、基準地震動(耐震設計の目安となる地震)に相当する揺れが繰り返し起こっても機能を喪失

しないとの説明を受けており、熊本地震を踏まえても安全性は確保されていると考えている。3号機の再稼働をやむを得ないとしてきたこれまでの見解に変更はない。
(中根) 今年3月に公表された療養病床実態調査の結果をどう受け止めるか。

(山本保健政策部長) 全国の値に比べ、医療の必要度が低い患者の割合が22.3%高いことなどが特徴に挙げられる。高齢化が進んだ中山間地域を抱え、家庭の介護力が弱い弱であるといった背景から長期療養の入院ニーズが高い本県の特徴の一端を示している。単に病床を減らすのではなく、住み慣れた地域で療養が可能な体制を構築するよう、今後の地域医療構

想の策定に反映したい。
7月10日(土) 高知新聞

7月10日(土) 高知新聞

(中根) 国保制度改革の都道府県運営方針案定案後は、高い保険料を払えず苦しむ国民の構造的向題について、の言及がなく不十分である。県の国保運営方針にしっかりと書き込むべきだと思ふが。
(山本健康政策部長) 国保運営の中で、国民だけが安心して必要な医療を受けられるよう、市町村とも連携して協議し、基本姿勢を「着実な目的」で、

「かかり記載すること」を考えている。
(中根) 子どもの貧困の中で、就学援助の拡充を。
(教員長) 市町村が充了した就学援助費度を運営していきけるよう、補助単価の引き上げや良態に依じた補助金の充て込みなど、国に対する要望もつけていきたい。

他、国連の女性差別撤廃委員会の勧告に基づいて、うけとめる内容など、質しました。

ててて歩記 (476)

わたしの県議会本会議での自民党の代表質問。今選挙もめ、「我々自民党は、今後も憲法改正に向けて全かど取りかてまいります。」と前おけたおと、ながながとやかた「史観をのべ、「我が国は、アメリカが作った国際法違反の憲法をまるご聖典のように神棚に祭り上げ果て参りまけた。」「平和主義は、どろぼろ、ふかかどはかかてはせんか、あなたを信用してはせんからドロボーに入らぬおと、玄南にはお札をさすおたも」等、次々と暴論がとび出し、本意に目が点になりまけた。要法意の改憲編です。民主主義とは何か、といったおた結果をさいたおたです。

ててて歩記 (476)

ててて歩記 (476)

ててて歩記 (476)

ててて歩記 (476)

ててて歩記 (476)